

# Infrastructure Manager / Infrastructure Manager for PRIMEFLEX V3.2.0

## Plug-in and Management Pack セットアップガイド

CA92344-6049-02  
2025年11月

# まえがき

## 本書の目的

本書では、Infrastructure Manager Plug-in(以降、ISM Plug-inと呼称)、および、Infrastructure Manager Management Pack(以降 ISM Management Packと呼称)のインストール方法、製品の取り扱い方法、および、ご使用に際して特に注意すべき事項や参考となる情報を説明します。

Infrastructure Manager(以降、「ISM」と表記)はサーバーやストレージなどのICT機器からファシリティ機器(PDUなど)までを統合的に管理、運用する運用管理ソフトウェアです。ISM Plug-inおよび、ISM Management Packは、各種仮想化管理ソフトのユーザーインターフェイスを拡張し、仮想化管理ソフト上でISMの各種機能を提供するためのプラグインソフトウェアです。本製品を導入することにより、仮想化管理ソフトからISMを直接利用できます。

本書で扱うISM Plug-in、および対応する仮想化管理ソフトウェアは以下のとおりです。

ISM Plug-in名	対応する仮想化管理ソフトウェア
Infrastructure Manager Plug-in for VMware vCenter Server Appliance (ISM Plug-in for vCSA)	VMware vCenter Server Appliance (vCSA)
Infrastructure Manager Plug-in for Microsoft System Center Operations Manager (ISM Plug-in for SCOM)	Microsoft System Center Operations Manager (SCOM)
Infrastructure Manager Plug-in for Microsoft System Center Virtual Machine Manager (ISM Plug-in for SCVMM)	Microsoft System Center Virtual Machine Manager (SCVMM)
Infrastructure Manager Plug-in for Microsoft Windows Admin Center (ISM Plug-in for WAC)	Microsoft Windows Admin Center (WAC)

## 製品マニュアル

マニュアル名称	説明
Infrastructure Manager / Infrastructure Manager for PRIMEFLEX V3.2.0 入門書	本製品を初めて使用する利用者向けのマニュアルです。 本製品の製品体系/ライセンス、利用手順の概要について説明しています。 マニュアル内では、『入門書』と表記します。
Infrastructure Manager / Infrastructure Manager for PRIMEFLEX V3.2.0 解説書	本製品の機能、導入手順、操作方法を説明したマニュアルです。 本製品の全機能、全操作を把握できます。 マニュアル内では、『解説書』と表記します。
Infrastructure Manager / Infrastructure Manager for PRIMEFLEX V3.2.0 操作手順書	本製品の導入手順、利用シーンに応じた操作手順を説明したマニュアルです。 マニュアル内では、『操作手順書』と表記します。
Infrastructure Manager / Infrastructure Manager for PRIMEFLEX V3.2.0 REST API リファレンスマニュアル	お客様が作成したアプリケーションと本製品を連携する際に必要なAPIの使用法、サンプル、パラメーター情報などを説明したマニュアルです。 マニュアル内では、『REST API リファレンスマニュアル』と表記します。
Infrastructure Manager / Infrastructure Manager for PRIMEFLEX V3.2.0 メッセージ集	ISMおよびISM for PRIMEFLEX使用時に出力される各種メッセージの説明と、そのメッセージに対する対処方法について説明しています。 マニュアル内では、『ISM メッセージ集』と表記します。
Infrastructure Manager for PRIMEFLEX V3.2.0 メッセージ集	ISM for PRIMEFLEX使用時に出力される各種メッセージの説明と、そのメッセージに対する対処方法について説明しています。

マニュアル名称	説明
	マニュアル内では、『ISM for PRIMEFLEX メッセージ集』と表記します。
Infrastructure Manager / Infrastructure Manager for PRIMEFLEX V3.2.0 プロファイル管理機能 プロファイル設定項目集	管理対象機器のプロファイル作成の設定を行う際に選択する項目の詳細情報について説明しています。  マニュアル内では、『プロファイル管理機能 プロファイル設定項目集』と表記します。
Infrastructure Manager for PRIMEFLEX V3.2.0 クラスタ作成／拡張機能 設定値一覧	ISM for PRIMEFLEXで利用できるクラスタ作成機能、クラスタ拡張機能の自動設定内容や各機能で使用されるクラスタ定義パラメーターについて説明しています。  マニュアル内では、『ISM for PRIMEFLEX 設定値一覧』と表記します。
Infrastructure Manager / Infrastructure Manager for PRIMEFLEX V3.2.0 用語集	本製品を使用するうえで理解が必要な用語の定義を説明した用語集です。  マニュアル内では、『用語集』と表記します。
Infrastructure Manager / Infrastructure Manager for PRIMEFLEX V3.2.0 Plug-in and Management Pack セットアップガイド	Infrastructure Manager Plug-inの以下の機能について、インストールから利用方法までと注意事項や参考情報を説明します。  <ul style="list-style-type: none"> <li>• Infrastructure Manager Plug-in for Microsoft System Center Operations Manager</li> <li>• Infrastructure Manager Plug-in for Microsoft System Center Virtual Machine Manager</li> <li>• Infrastructure Manager Plug-in for VMware vCenter Server Appliance</li> <li>• Infrastructure Manager Plug-in for Microsoft Windows Admin Center</li> </ul> マニュアル内では、『ISM Plug-in/MP セットアップガイド』と表記します。

上記マニュアルと併せて、ISMに関する最新情報については、当社の本製品Webサイトを参照してください。

<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/infrastructure-software/infrastructure-software/serverviewism/>

管理対象の各ハードウェアについては、各ハードウェアのマニュアルを参照してください。

PRIMERGYの場合は、「ServerView Suite ServerBooks」、またはPRIMERGYマニュアルページを参照してください。

<https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/manual/>

## 本書の読者

このマニュアルは、ハードウェアとソフトウェアについて十分な知識を持っているシステム管理者、ネットワーク管理者、ファシリティ管理者およびサービス専門家を対象とします。

## 本書の表記について

### 表記

#### キーボード

印字されない文字のキーストロークは、[Enter]や[F1]などのキーアイコンで表示されます。例えば、[Enter]はEnterというラベルの付いたキーを押すことを意味し、[Ctrl]+[B]は、CtrlまたはControlというラベルの付いたキーを押しながら[B]キーを押すことを意味します。

#### 記号

特に注意すべき事項の前には、以下の記号が付いています。

## ポイント

ポイントとなる内容について説明します。

## 注意

注意する項目について説明します。

### 変数: <xxx>

お使いの環境に応じた数値／文字列に置き換える必要のある変数を表します。

例: <IPアドレス>

### 略称

本書では各製品名を以下の略称で記載します。

正式名称	略称
Infrastructure Manager	ISM
Infrastructure Manager Plug-in	ISM Plug-in
Microsoft® Windows Server®	Windows Server
VMware vCenter Server® Appliance™	vCSA
Microsoft® System Center Operations Manager	SCOM
Microsoft® System Center Virtual Machine Manager	SCVMM
Microsoft® Windows Admin Center	WAC

本書では、VMware by Broadcom社をVMwareと表記します。また、VMware ESXiおよびVMware ESXについて、バージョン依存しない場合、「VMware ESXi/ESX」と表記します。

### 用語

本書で使用している主な略語および用語については、『用語集』を参照してください。

### PDF表示アプリケーション(Adobe Readerなど)での操作について

PDF表示アプリケーションで以下の操作を行った場合、表示アプリケーションの仕様により、不具合(余分な半角空白や改行の追加、半角空白や行末のハイフンの欠落、改行だけの行の欠落など)が発生することがあります。

- テキストファイルへの保存
- テキストのコピー&ペースト

## 高度な安全性が要求される用途への使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業等の一般的用途を想定して開発・設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途(以下「ハイセイフティ用途」という)に使用されるよう開発・設計・製造されたものではありません。お客様は本製品を必要な安全性を確保する措置を施すことなくハイセイフティ用途に使用しないでください。また、お客様がハイセイフティ用途に本製品を使用したことにより発生する、お客様または第三者からのいかなる請求または損害賠償に対してもエフサステクノロジーズ株式会社およびその関連会社は一切責任を負いかねます。

## 安全にお使いいただくために

本書には、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、本書を熟読してください。また、本製品を安全にお使いいただくためには、本製品のご使用にあたり各製品(ハードウェア、ソフトウェア)をご理解いただく必要があります。必ず各製品の注意事項に従ったうえで本製品をご使用ください。本書は本製品の使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

## 改造等

お客様は、本ソフトウェアを改造したり、あるいは、逆コンパイル、逆アセンブルをともなうリバースエンジニアリングを行うことはできません。

## 免責事項

本製品の運用を理由とする損失、免失利益等の請求につきましては、いかなる責任も負いかねます。本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。

## 登録商標について

Microsoft、Windows、またはその他のマイクロソフト製品の名称および製品名は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

VMwareおよびVMwareの製品名は、Broadcom Inc.の米国および各国での商標または登録商標です。

その他の会社名と各製品名は、各社の商標、または登録商標です。

その他の各製品は、各社の著作物です。

## 著作権表示

Copyright 2017-2025 Fsas Technologies Inc.

本書を無断で複製・転載することを禁止します。

## 改版履歴

版数	作成年月	変更内容	章・節・項	変更箇所
01	2025年9月	新規作成	—	—
02	2025年11月	誤記修正	2.4.3 インストールファイルを実行する	手順1
			3.4.3 インストールファイルを実行する	
		2.4.5 ISM Plug-in for SCOMに情報を登録する	手順3	
OpenSSLのバージョンに関する記事追記	2.4.1 インストールの準備	ポイント		
	3.4.1 インストールの準備			

# 目次

第1章 ISM Plug-in for vCSA /2.3	1
1.1 機能概要	1
1.2 パッケージ内容	1
1.3 システム要件	1
1.4 インストール	1
1.4.1 インストールの準備	2
1.4.2 ISMにインストールファイルを格納する	3
1.4.3 ISMにISM Plug-in for vCSAを適用する	3
1.4.4 ISM Plug-in for vCSAに情報を登録する	3
1.4.5 Plug-inサーバーを起動する	5
1.4.6 ISM Plug-in for vCSAに登録した情報を更新する	6
1.4.7 vCSAにISM Plug-in for vCSAをインストールする	8
1.4.8 WebブラウザにISMのSSLサーバー証明書をインストールする	8
1.4.9 ISM Plug-in for vCSAを利用する	9
1.5 アンインストール	9
1.5.1 vCSAからプラグインをアンインストールする	9
1.5.2 Plug-inサーバーを停止する	10
1.5.3 ISMからプラグインを削除する	10
1.6 設定のエクスポート	10
1.7 設定のインポート	11
1.8 ログのエクスポート	11
1.9 留意事項	12
第2章 ISM Plug-in for SCOM 1.3	13
2.1 機能概要	13
2.2 パッケージ内容	13
2.3 システム要件	13
2.4 インストール	13
2.4.1 インストールの準備	13
2.4.2 インストールファイルを格納する	13
2.4.3 インストールファイルを実行する	14
2.4.4 管理バックをインポートする	14
2.4.5 ISM Plug-in for SCOMに情報を登録する	14
2.4.6 ISM Plug-in for SCOMの情報を削除する	15
2.4.7 ISM Plug-in for SCOMを利用する	15
2.5 アンインストール	16
2.6 留意事項	16
第3章 ISM Plug-in for SCVMM 1.3	17
3.1 機能概要	17
3.2 パッケージ内容	17
3.3 システム要件	17
3.4 インストール	17
3.4.1 インストールの準備	17
3.4.2 インストールファイルを格納する	17
3.4.3 インストールファイルを実行する	18
3.4.4 コンソールアドインをインポートする	18
3.4.5 ISM Plug-in for SCVMMに情報を登録する	18
3.4.6 ISM Plug-in for SCVMMの情報を削除する	19
3.4.7 ISM Plug-in for SCVMMを利用する	19
3.5 アンインストール	19
3.6 留意事項	20
第4章 ISM Plug-in for WAC 2.1	21
4.1 機能概要	21
4.2 パッケージ内容	21

4.3 システム要件.....	21
4.4 インストール.....	21
4.4.1 インストールファイルを格納する.....	21
4.4.2 インストール.....	21
4.4.3 ISM Plug-in for WACに情報を登録する.....	22
4.4.4 WebブラウザにISMのSSLサーバー証明書をインストールする.....	23
4.4.5 ISM Plug-in for WACを利用する.....	23
4.5 アンインストール.....	24
4.6 留意事項.....	24
<b>第5章 最新情報.....</b>	<b>25</b>
<b>付録A WebブラウザにSSLサーバー証明書を設定する.....</b>	<b>26</b>

# 第1章 ISM Plug-in for vCSA /2.3

## 1.1 機能概要

Infrastructure Manager Plug-in for VMware vCenter Server Appliance (ISM Plug-in for vCSA) は、vCSAのユーザーインターフェイスを拡張し、vCSA上でISMの各種機能を提供するためのプラグインソフトウェアです。

本製品を導入することにより、vCSAからISMを直接利用できます。

## 1.2 パッケージ内容

本製品を展開すると下記5つのファイルに解凍されます。

- FTISVismvCenterPlugin-x.y.z.tar.gz [注]
- Readme.txt
- Readme\_en.txt
- open\_source\_license.txt
- VMWARE\_SDK\_OSS\_LICENSE.zip

[注]: x.y.zは最新バージョンを表します。

最新バージョンまたは適用したいバージョンについては、『管理対象機器一覧』を参照してください。

<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/infrastructure-software/infrastructure-software/serverviewism/environment/>

## 1.3 システム要件

ISM Plug-in for vCSA が動作するvCSAのシステム要件については、当社の本製品Webサイトを参照してください。

<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/infrastructure-software/infrastructure-software/serverviewism/environment/>

本製品のISM Plug-in for vCSA 2.1 ではvCSA 8.0以降をサポートし、ISM Plug-in for vCSA 2.2ではvCSA 7.0/8.0以降をサポートします。

本Plug-inを利用する場合、多要素認証を無効にしてください。

## 1.4 インストール

vCSAにISM Plug-in for vCSAをインストールします。以下に、vCSAへのインストール手順を説明します。

ISM Plug-in for vCSA 2.1からvCSA上で動作していたサービスがISM上で動作します。このため、設定登録にvCSAアカウント情報が追加され、サービスを実行させるPlug-inサーバーが追加されました。



注意

事前に、下記の設定とソフトウェアの準備が必要です。以下を参照してください。

- vCSA のSSHログインを有効化  
vCSA Webコンソールにログインし、[管理]—[デプロイ]—[システム構成]のノード項で対象vCSAを選択、[管理]—[設定]—[アクセス]にてSSHログインが有効になっていることを確認します。
- SSH接続をサポートしたターミナルエミュレータのインストール
- SFTP接続をサポートしたファイル転送クライアントのインストール

## ポイント

- ・ ターミナルエミュレータに表示される内容は四角枠に記載します。
- ・ 出力表示はバージョンの違いなどによって実際の表示と異なる場合があります。

### 1.4.1 インストールの準備

vCSAにISM Plug-inをインストールします。以下に、vCSAへのインストール手順を説明します。

## ポイント

- ・ 適用したいバージョンよりも古いバージョンのISM Plug-in for vCSAがすでにインストールされている場合は、古いバージョンのISM Plug-in for vCSAをアンインストールしてください。
- ・ Google Chrome 86以降、Microsoft Edge 86以降、またはMozilla Firefox 82以降を利用する場合は、下記手順を実施してください。

#### Google Chrome 86以降、91未満を利用する場合

1. Google Chromeを起動します。
2. URLに「chrome://flags/」と入力し、[Enter]キーを押します。
3. 「SameSite by default cookies」を「Disabled」へ変更します。
4. 画面右下の[Relaunch]ボタンを選択します。

#### Google Chrome 91以降、94未満を利用する場合

1. コマンドプロンプトを起動します。
2. 以下のとおり入力し、[Enter]キーを押します。

```
"C:\Program Files (x86)\Google\Chrome\Application\chrome.exe" --disable-features=SameSiteByDefaultCookies
```

#### Microsoft Edge 86以降、91未満を利用する場合

1. Microsoft Edgeを起動します。
2. URLに「Edge://flags/」と入力し、[Enter]キーを押します。
3. 「SameSite by default cookies」を「Disabled」へ変更します。
4. 画面右下の[Relaunch]ボタンを選択します。

#### Microsoft Edge 91以降、94未満を利用する場合

1. コマンドプロンプトを起動します。
2. 以下のとおり入力し、[Enter]キーを押します。

```
"C:\Program Files (x86)\Microsoft\Edge\Application\msedge.exe" --disable-features=SameSiteByDefaultCookies
```

#### Mozilla Firefox 82以降を利用する場合

1. Mozilla Firefoxを起動します。
  2. URLに「about:config」と入力し、[Enter]キーを押します。
  3. 「network.cookie.sameSite.laxByDefault」を「false」へ変更します。
- ・ ご利用されているWebブラウザのセキュリティ設定によっては、ISM認証画面でログインできないことがあります。この場合は、下記の対処を実施後、ISM認証画面で再度ログインしてください。

例:Microsoft Edgeの場合

[インターネットオプション]-[セキュリティ]より、[ローカルイントラネットのサイト]にISMのURLを追加

## 1.4.2 ISMにインストールファイルを格納する

インストールファイルをISM-VAへ転送します。

転送先 /Administrator/ftp

GUIでの転送方式は、『解説書』の「4.23 GUIを使用したファイルアップロード」を参照してください。

## 1.4.3 ISMにISM Plug-in for vCSAを適用する

1. ISM-VA にSSH接続します。

ターミナルエミュレータによってはセキュリティの警告メッセージが出る場合がありますが、そのまま続行してください。

2. administratorユーザーでログインします。
3. プラグイン適用のため、一時的にISMサービスを停止します。

```
# ismadm service stop ism
```

4. プラグイン適用コマンドを実行します。

```
# ismadm system plugin-add -file /Administrator/ftp/<インストールファイル>
===== Preparing to install... =====
===== Checking install files... =====
===== Install start... =====
Install finished
```

5. プラグイン適用後、ISMを再起動します。

```
# ismadm power restart
```

### ポイント

適用したプラグインを確認するためには、以下のコマンドを実行します。

```
# ismadm system plugin-show
FTISVismvCenterPlugin x.y.z
#
```

## 1.4.4 ISM Plug-in for vCSAに情報を登録する

ISM Plug-inにvCSAおよびISMの各種情報を登録します。

1. ISM-VA にSSH接続します。
2. vCSAがISMと接続するための情報を登録します。

```
# pluginmgr config-add -vcip <vCSAのIPアドレス or FQDN>
Welcome to the setup wizard for ISM vCenter Plug-in. Please enter the following information to register.
Please enter a valid user name of ISM Server: <ISMのユーザー名>
Please enter a password for the user name: <ISMのパスワード>
Please enter the vCenter role name that should login as <ISM Server user name> you specified above: <vCSAのロール名>
Please enter a valid user name of vCenter Server: <vCSAのユーザー名>
Please enter a password for the user name of vCenter Server: <vCSAのパスワード>

Registration completed successfully.
```

<vCSAのロール名>を複数利用する場合は「,」区切りで指定してください。

例: Admin,ReadOnly

3. 登録したvCSAのISM接続設定を確認します。

```
# pluginmgr config-show -vcip <vCSAのIPアドレス or FQDN>
ISM account: <ISMのユーザー名> vCenter role: <vCSAのロール名> vCenter account: <vCSAのユーザー名>
```

<vCSAのロール名>を複数利用する場合は「,」区切りで指定してください。

4. 登録したvCSAを確認します。

```
# pluginmgr config-list-show
vCenter: 192.168.1.20 Last Updated: July 26, 2023 1:18 AM
```

## ポイント

- 登録できるvCSAは1つとなります。
- pluginmgr config-add -vcip の"vCSAのロール名"は、以下のルールに従って設定してください。
  - vCSA GUIの管理→ロールから、vCSAのロールを新規またはクローンで作成した場合  
vCSAのロール作成時に指定したロール名を設定する。
  - vCSA GUIの管理→ロールに、標準で登録されているロール名を利用する場合  
GUIで表示されているロール名に対応するCLI標準ロール設定名称("role name")に変更してください。  
この対応関係は下表で確認します。  
「GUIで表示されているロール名」は、該当言語の行の「vCSAの言語ごとの標準ロール名」列を確認してください。

### 例1 vCSAを日本語表示で利用し、ロール"システム管理者"で設定したい場合

対応するCLI標準ロール設定名称("role name")はAdminとなるため、"vCSAのロール名"にAdminと設定してください。

### 例2 vCSAを英語表示で利用し、ロール名"Administrator"で設定したい場合

対応するCLI標準ロール設定名称("role name")はAdminとなるため、"vCSAのロール名"にAdminと設定してください。

表1.1 CLI標準ロール設定名称に対応するvCSAの言語ごとの標準ロール名

言語	CLI 標準ロール設定名称 "role name"	vCSAの言語ごとの標準ロール名
日本語	Admin	システム管理者
	ReadOnly	読み取り専用
	AutoUpdateUser	AutoUpdateUser
	VirtualMachineConsoleUser	仮想マシンコンソールユーザー
	InventoryService.Tagging.TaggingAdmin	管理者のタグ付け
英語	Admin	Administrator
	ReadOnly	Read-only
	AutoUpdateUser	AutoUpdateUser
	VirtualMachineConsoleUser	Virtual Machine console user
	InventoryService.Tagging.TaggingAdmin	Tagging Admin
ドイツ語	Admin	Administrator
	ReadOnly	Nur Lesen
	AutoUpdateUser	AutoUpdateUser
	VirtualMachineConsoleUser	Virtual Machine console user
	InventoryService.Tagging.TaggingAdmin	Tagging Admin
フランス語	Admin	Administrateur
	ReadOnly	Lecture seule

言語	CLI 標準ロール設定名称 "role name"	vCSAの言語ごとの標準ロール名
	AutoUpdateUser	AutoUpdateUser
	VirtualMachineConsoleUser	Utilisateur de console de machine virtuelle
	InventoryService.Tagging.TaggingAdmin	Administrateur de balisage
スペイン語	Admin	Administrador
	ReadOnly	Solo lectura
	AutoUpdateUser	AutoUpdateUser
	VirtualMachineConsoleUser	Usuario de consola de máquina virtual
	InventoryService.Tagging.TaggingAdmin	Administrador de etiquetado
簡体字中国語	Admin	管理员
	ReadOnly	只读
	AutoUpdateUser	AutoUpdateUser
	VirtualMachineConsoleUser	虚拟机控制台用户
	InventoryService.Tagging.TaggingAdmin	标记管理
繁体字中国語	Admin	系統管理員
	ReadOnly	唯讀
	AutoUpdateUser	AutoUpdateUser
	VirtualMachineConsoleUser	虛擬機器主控台使用者
	InventoryService.Tagging.TaggingAdmin	標記管理員
韓国語	Admin	관리자
	ReadOnly	읽기 전용
	AutoUpdateUser	AutoUpdateUser
	VirtualMachineConsoleUser	가상 시스템 콘솔 사용자
	InventoryService.Tagging.TaggingAdmin	태그 지정 관리자

- 管理者権限を持たないvCSA ユーザーの場合は、vCSAで"拡張機能"権限を割り当てる必要があります。詳細については、VMwareの製品マニュアルを参照してください。

## 1.4.5 Plug-inサーバーを起動する

vCenterのGUIからISM Plug-inとISMを連携するために必要なWebサービスを提供するPlug-inサーバーを起動します。

### 注意

- ISMを再起動した場合は、本コマンドでPlug-inサーバーを再度起動してください。
- 他のvCenterに対してすでにPlug-inサーバーを起動していた場合は、これを停止してから起動してください。Plug-inサーバーの停止方法は「1.5.2 Plug-inサーバーを停止する」を参照してください。

1. ISM-VA にSSH接続します。
2. Plug-in サーバーを起動します。

```
# pluginmgr pluginserver-start -vcip <vCSAのIPアドレス or FQDN>
.....
```

```
Plugin server started successfully.  
#
```

本コマンドが正常終了するまでには、数十秒かかります。

3. 起動したPlug-inサーバーを確認します。

```
# pluginmgr pluginserver-show  
plugin server for vCenter: 192.168.1.20
```

## 1.4.6 ISM Plug-in for vCSAに登録した情報を更新する

すでにISM Plug-inに登録したvCSAおよびISMの各種情報を更新するための手順を説明します。

### ポイント

「1.4.4 ISM Plug-in for vCSAに情報を登録する」で登録した情報を変更する場合に必要な操作です。情報を変更しない場合、本手順は不要です。

1. ISM-VA にSSH接続します。
2. vCSAがISMと接続するための情報を削除します。ただし、「1.4.4 ISM Plug-in for vCSAに情報を登録する」で登録したIPアドレスまたはFQDNが同じ場合、本手順は必要ありません。

```
# pluginmgr config-del -vcip <vCSAのIPアドレス or FQDN>  
  
Unregistration completed successfully.
```

3. vCSAがISMと接続するための情報を登録します。

```
# pluginmgr config-add -vcip <vCSAのIPアドレス or FQDN>  
Welcome to the setup wizard for ISM vCenter Plug-in. Please enter the following information to register.  
Please enter a valid user name of ISM Server: <ISMのユーザー名>  
Please enter a password for the user name: <ISMのパスワード>  
Please enter the vCenter role name that should login as <ISM Server user name> you specified above: <vCSAのロール名>  
>  
Please enter a valid user name of vCenter Server: <vCSAのユーザー名>  
Please enter a password for the user name of vCenter Server: <vCSAのパスワード>  
  
Registration completed successfully.
```

<vCSAのロール名>を複数利用する場合は「,」区切りで指定してください。

例: Admin,ReadOnly

4. 登録したvCSAのISM接続設定を確認します。

```
# pluginmgr config-show -vcip <vCSAのIPアドレス or FQDN>  
ISM account: <ISMのユーザー名> vCenter role: <vCSAのロール名> vCenter account: <vCSAのユーザー名>
```

<vCSAのロール名>を複数利用する場合は「,」区切りで指定してください。

5. 登録したvCSAの一覧を確認します。

```
# pluginmgr config-list-show  
vCenter: 192.168.1.20 Last Updated: July 26, 2023 1:18 AM
```

6. 更新した情報を反映します。

情報の反映方法は、「1.4.7 vCSAにISM Plug-in for vCSAをインストールする」を実施してください。

## ポイント

- `pluginmgr config-add -vcip` の"vCSAのロール名"は、以下のルールに従って設定してください。
  - ー vCSA GUIの管理→ロールから、vCSAのロールを新規またはクローンで作成した場合  
vCSAのロール作成時に指定したロール名を設定する。
  - ー vCSA GUIの管理→ロールに、標準で登録されているロール名を利用する場合  
GUIで表示されているロール名に対応するCLI標準ロール設定名称("role name")に変更してください。  
この対応関係は下表で確認します。  
「GUIで表示されているロール名」は、該当言語の行の「vCSAの言語ごとの標準ロール名」列を確認してください。

### 例1 vCSAを日本語表示で利用し、ロール"システム管理者"で設定したい場合

対応するCLI標準ロール設定名称("role name")はAdminとなるため、"vCSAのロール名"にAdminと設定してください。

### 例2 vCSAを英語表示で利用し、ロール名"Administrator"で設定したい場合

対応するCLI標準ロール設定名称("role name")はAdminとなるため、"vCSAのロール名"にAdminと設定してください。

表1.2 CLI標準ロール設定名称に対応するvCSAの言語ごとの標準ロール名

言語	CLI 標準ロール設定名称 "role name"	vCSAの言語ごとの標準ロール名
日本語	Admin	システム管理者
	ReadOnly	読み取り専用
	AutoUpdateUser	AutoUpdateUser
	VirtualMachineConsoleUser	仮想マシンコンソールユーザー
	InventoryService.Tagging.TaggingAdmin	管理者のタグ付け
英語	Admin	Administrator
	ReadOnly	Read-only
	AutoUpdateUser	AutoUpdateUser
	VirtualMachineConsoleUser	Virtual Machine console user
	InventoryService.Tagging.TaggingAdmin	Tagging Admin
ドイツ語	Admin	Administrator
	ReadOnly	Nur Lesen
	AutoUpdateUser	AutoUpdateUser
	VirtualMachineConsoleUser	Virtual Machine console user
	InventoryService.Tagging.TaggingAdmin	Tagging Admin
フランス語	Admin	Administrateur
	ReadOnly	Lecture seule
	AutoUpdateUser	AutoUpdateUser
	VirtualMachineConsoleUser	Utilisateur de console de machine virtuelle
	InventoryService.Tagging.TaggingAdmin	Administrateur de balisage
スペイン語	Admin	Administrador
	ReadOnly	Solo lectura
	AutoUpdateUser	AutoUpdateUser
	VirtualMachineConsoleUser	Usuario de consola de máquina virtual
	InventoryService.Tagging.TaggingAdmin	Administrador de etiquetado

言語	CLI 標準ロール設定名称 "role name"	vCSAの言語ごとの標準ロール名
簡体字中国語	Admin	管理员
	ReadOnly	只读
	AutoUpdateUser	AutoUpdateUser
	VirtualMachineConsoleUser	虚拟机控制台用户
	InventoryService.Tagging.TaggingAdmin	标记管理
繁体字中国語	Admin	系統管理員
	ReadOnly	唯讀
	AutoUpdateUser	AutoUpdateUser
	VirtualMachineConsoleUser	虛擬機器主控台使用者
	InventoryService.Tagging.TaggingAdmin	標記管理員
韓国語	Admin	관리자
	ReadOnly	읽기 전용
	AutoUpdateUser	AutoUpdateUser
	VirtualMachineConsoleUser	가상 시스템 콘솔 사용자
	InventoryService.Tagging.TaggingAdmin	태그 지정 관리자

- 管理者権限を持たない vCSA ユーザーの場合は、vCSA で "拡張機能" 権限を割り当てる必要があります。詳細については、VMware の製品マニュアルを参照してください。

## 1.4.7 vCSA に ISM Plug-in for vCSA をインストールする

1. プラグインインストールコマンドを実行します。

```
# pluginmgr pkg-install -vcip <vCSAのIPアドレス or FQDN>
Installation completed successfully.
```

2. exit コマンドを入力し、ISM からログアウトします。
3. Web ブラウザーで vSphere Client (HTML5) の URL を開き、ログインします。
4. [管理] を選択します。
5. [ソリューション] > [クライアントプラグイン] を選択します。
6. "Infrastructure Manager Plug-in" のステータスが「デプロイ済み/有効」となっていることを確認します。(2.1 の場合 "Infrastructure Manager Plug-in")

## 1.4.8 Web ブラウザーに ISM の SSL サーバー証明書をインストールする

vSphere Client (HTML5) にログインする端末の Web ブラウザーに ISM の SSL サーバー証明書のインストールが必要です。

SSL サーバー証明書を設定する手順については、本手順書の「付録 A Web ブラウザーに SSL サーバー証明書を設定する」を参照してください。

SSL サーバー証明書をインストールしていない場合、ISM Plug-in 利用時にエラー画面が表示されます。

Web ブラウザーに SSL サーバー証明書をインストールし、Web ブラウザーを再起動後、ISM Plug-in が正常に表示されることを確認してください。

また、ISM の SSL サーバー証明書を再設定した場合、「1.5.1 vCSA からプラグインをアンインストールする」、「1.4.7 vCSA に ISM Plug-in for vCSA をインストールする」を実施後、証明書を再インストールし、ブラウザーのキャッシュをクリア後、ブラウザーを再起動してください。

## 1.4.9 ISM Plug-in for vCSAを利用する



注意

多要素認証を有効にした場合、[Infrastructure Manager]を選択すると以下のエラー画面が表示されます。

```
Access error to Infrastructure Manager
It cannot access Infrastructure Manager via the account of vCenter being logged to in now.
Please do an appropriate setting to access Infrastructure Manager with CLI of Infrastructure Manager for plug-in.
```

1. WebブラウザでvSphere Client(HTML5)のURLを開き、ログインします。
2. [データセンター]または[クラスタ]を選択するか、[ホストおよびクラスタ]を開き、<対象ホスト>を選択します。
3. [監視] - [Infrastructure Manager]を選択します。



注意

- <対象ホスト>のIPアドレスをISMの[ノードリスト]-[<対象ホスト>]-[OS]タブの[登録IPアドレス]に登録してください。
- 以下のメッセージが表示される、または[監視]タブに何も表示されない場合はISM Plug-inの設定が異なっている可能性があります。「1.4.6 ISM Plug-in for vCSAに登録した情報を更新する」を参考にしてPlug-inの設定を再度実施してください。

```
Access error to Infrastructure Manager
It cannot access Infrastructure Manager via the account of vCenter being logged to in now.
Please do an appropriate setting to access Infrastructure Manager with CLI of Infrastructure Manager for plug-in.
```

- Plug-in サーバーを起動していない場合、[Infrastructure Manager]を選択すると以下のエラー画面が表示されます。「1.4.5 Plug-inサーバーを起動する」を実施してください。

```
no healthy upstream
```

4. フレーム内に対象ホストのISM画面が表示されます。
  - 対象ホストがISMに登録されている場合:  
対象ホストのノード詳細が表示されます。
  - 対象ホストがISMに登録されていない場合 / 上記手順2で[データセンター]または[クラスタ]を選択した場合:  
ノードリストが表示されます。

## 1.5 アンインストール

vCSAにインストールしたISM Plug-in for vCSAをアンインストールします。以下に、vCSAへのアンインストール手順を説明します。

### 1.5.1 vCSAからプラグインをアンインストールする

1. プラグインアンインストールコマンドを実行します。

```
# pluginmgr pkg-uninstall -vcip <vCSAのIPアドレス or FQDN>
Uninstall plugin Infrastructure Manager Plug-in

Uninstallation completed successfully.
```



ポイント

プラグインの削除を確認するためには、以下のコマンドを実行します。

コマンド実行の結果より手順1で指定したvCSAが存在しないことを確認します。

```
# pluginmgr pkg-install-list-show
#
```

## 1.5.2 Plug-inサーバーを停止する

1. 起動しているPlug-inサーバーを確認します。

```
# pluginmgr pluginserver-show
plugin server for vCenter: 192.168.1.20
```

2. 起動しているPlug-inサーバーを停止します。

```
# pluginmgr pluginserver-stop -vcip <手順1で確認したvCSAのIPアドレス or FQDN>
ISM Plugin server was stopped successfully.
```

## 1.5.3 ISMからプラグインを削除する

1. プラグイン削除のため、一時的にISMサービスを停止します。

```
# ismadm service stop ism
```

2. プラグイン削除コマンドを実行します。

```
# ismadm system plugin-del -name FTISVismvCenterPlugin
Uninstall plugin <FTISVismvCenterPlugin x.y.z> ?
[y/n]:
```

3. [y]を入力して、プラグイン削除を確定させます。
4. プラグイン削除後、ISMを再起動します。

```
# ismadm power restart
```

## 1.6 設定のエクスポート

ISMの再構築時に同一の設定を適用することを目的として、ISM Plug-inに登録されたvCSAおよびISMの設定をエクスポートします。以下に、設定のエクスポート手順を説明します。

1. ISM にSSH接続します。

ターミナルエミュレータによってはセキュリティの警告メッセージが出る場合がありますが、そのまま続行してください。

2. administratorユーザーでログインします。
3. 設定のエクスポートコマンドを実行します。

```
# pluginmgr config-export -vcip <vCSAのIPアドレス or FQDN>
Export config file completed successfully.
```

4. exitコマンドを入力し、ISMからログアウトします。

### ポイント

エクスポートされた設定は、FTP領域「/Administrator/ftp」に格納されます。

必要に応じて取得してください。

GUIでの転送方式は、『解説書』の「4.23 GUIを使用したファイルアップロード」を参照してください。

FTPでの転送方法は、『解説書』の「2.1.2 FTPアクセス」を参照してください。

インストールファイルは、バイナリモードで転送してください。

## 1.7 設定のインポート

ISMの再構築時に同一の設定を適用することを目的として、ISM Plug-inに登録されたvCSAおよびISMの設定をインポートします。以下に、設定のインポート手順を説明します。

1. ISM にSSH接続します。  
ターミナルエミュレータによってはセキュリティの警告メッセージが出る場合がありますが、そのまま続行してください。
2. administratorユーザーでログインします。
3. 設定のインポートコマンドを実行します。

```
# pluginmgr config-import -vcip <vCSAのIPアドレス or FQDN>  
  
Import config file completed successfully.
```

4. exitコマンドを入力し、ISMからログアウトします。

### ポイント

インポートされた設定は、vCSAにプラグインをインストールしない限り、設定反映されません。

GUIでの転送方式は、『解説書』の「4.23 GUIを使用したファイルアップロード」を参照してください。

## 1.8 ログのエクスポート

トラブル発生時の調査資料採取を目的として、ISM Plug-inがインストールされたISMのログをエクスポートします。以下に、ログのエクスポート手順を説明します。

1. ISM にSSH接続します。  
ターミナルエミュレータによってはセキュリティの警告メッセージが出る場合がありますが、そのまま続行してください。
2. administratorユーザーでログインします。
3. ログのエクスポートコマンドを実行します。

```
# pluginmgr log-export  
  
Export log file completed successfully.
```

4. "exit" コマンドを入力し、ISMからログアウトします。

### ポイント

エクスポートされたログは、FTP領域「/Administrator/ftp」に格納されます。

必要に応じて取得してください。

GUIでの転送方式は、『解説書』の「4.23 GUIを使用したファイルアップロード」を参照してください。

FTPでの転送方法は、『解説書』の「2.1.2 FTPアクセス」を参照してください。

## 1.9 留意事項

---

- ISM Plug-in for vCSAを使用するためには、ISMのご購入およびインストールが必須となります。

ISMの詳細については、ISMの製品マニュアルを参照してください。ISMがインストールされていない場合、動作しませんのであらかじめご了承ください。

- ISM Plug-in for vCSAを使用するためには、vCSAをあらかじめデプロイのうえ、利用可能なことが必須となります。

vCSAの操作方法については、VMwareの製品マニュアルを参照してください。

## 第2章 ISM Plug-in for SCOM 1.3

### 2.1 機能概要

Infrastructure Manager Plug-in for Microsoft System Center Operations Manager (ISM Plug-in for SCOM) は、SCOMのユーザーインターフェイスを拡張し、SCOM上でISMの各種機能を提供するためのプラグインソフトウェアです。

本製品を導入することにより、SCOMからISMを直接利用できます。

### 2.2 パッケージ内容

本製品を展開すると、下記3つのファイルに解凍されます。

- ISMSCOM\_INSTALL.exe
- Readme.txt
- Readme\_en.txt

### 2.3 システム要件

ISM Plug-in for SCOMが動作するSCOMのシステム要件については、当社の本製品Webサイトを参照してください。

<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/infrastructure-software/infrastructure-software/serverviewism/environment/>

本Plug-inを利用する場合、多要素認証を無効にしてください。

### 2.4 インストール

SCOMにISM Plug-in for SCOMをインストールします。以下に、SCOMへのインストール手順を説明します。

#### 2.4.1 インストールの準備

SCOMにISM Plug-in for SCOMをインストールします。以下に、SCOMへのインストール手順を説明します。

##### ポイント

- 以降の手順を実施する前にISM Plug-in for SCOMをインストールするWindows ServerへOpenSSLをインストールしてください。また、環境変数の「Path」にopenssl.exeファイルが存在するパスを追加してください。インストールするOpenSSLのバージョンは、ISMのOpenSSLのバージョンと合わせてください(参考:ISM 3.2.0時点でopenssl3.2.2)。
- 新規にインストールする場合は、ISM Plug-in for SCOMをインストールするWindows ServerおよびSystem CenterがTLSv1.2を利用できるようにしてください。
- 適用したいバージョンよりも古いバージョンのISM Plug-in for SCOMがすでにインストールされている場合は、古いバージョンのISM Plug-in for SCOMをアンインストールしてください。

#### 2.4.2 インストールファイルを格納する

ISM Plug-in for SCOMをインストールするWindows ServerにRemote Desktopで接続します。

インストールファイルをコピー&ペーストで接続先のWindows Serverの任意のディレクトリへ転送します。

## 2.4.3 インストールファイルを実行する

---

1. インストール先の Windows Server にて「[2.4.2 インストールファイルを格納する](#)」で転送したインストールファイル (ISMSCOM\_INSTALL.exe) を右クリックして「管理者として実行」を選択しインストールします。  
インストール言語選択ダイアログボックスが表示されます。
2. 日本語または英語を選択し、[OK]を選択します。  
インストーラーの準備が完了すると、「次へ」を選択して、続行してください。」と表示されます。
3. [次へ]を選択します。  
「使用許諾契約書」画面が表示されます。
4. 内容を確認し、[同意します]にチェックを入れ、[次へ]を選択します。  
「インストール先のフォルダー」画面が表示されます。
5. インストール先フォルダーを変更しない場合は、[次へ]を選択します。  
インストール先フォルダーを変更したい場合は、[変更]を選択します。  
[変更]を選択した場合、「インストール先フォルダーの変更」画面が表示されますので、インストールしたいフォルダーを選択し、[OK]を選択します。  
選択したフォルダーのパスが「インストール先のフォルダー」画面に表示されます。
6. パスが正しいことを確認し、[次へ]を選択します。  
「プログラムをインストールする準備ができました」画面が表示されます。
7. [インストール]を選択します。  
インストール完了ダイアログボックスが表示されます。
8. [完了]を選択し、終了します。

## 2.4.4 管理パックをインポートする

---

1. SCOMを起動します。
2. 左ペインの[管理] - [管理パック]から右クリックして、[管理パックのインポート]を選択します。
3. [追加] - [ディスクから追加する]を選択します。

### ポイント

.....  
手順3を実行後、[オンライン カタログ接続]ダイアログボックスが表示される場合があります。表示された場合は[いいえ]を選択します。  
.....

4. インストール先フォルダーから、[Management Packs] - [Fsastech.InfrastructureManager.mp]を選択し、[開く]を選択します。
5. [インストール]を選択します。
6. インポートが完了したら、[閉じる]を選択して終了します。

## 2.4.5 ISM Plug-in for SCOMに情報を登録する

---

コマンドプロンプトを用いて、ISM Plug-in for SCOMにISMおよびSCOMの各種情報を登録します。

1. ISM Plug-in for SCOMをインストールしたWindows Server で[コマンド プロンプト(管理者)]を起動します。  
コマンドプロンプトが起動します。
2. 以下のコマンドを入力します。  
<インストール先フォルダー名>¥IsmsServerConfig.exe

3. 以下の情報を入力します。

```
Please enter the IP address or FQDN of ISM Server : <ISM のIP アドレス、またはFQDN>
Please enter the port number of ISM Server : <ISM のポート番号>
Please enter the user name of ISM Server : <ISM のユーザー名>
Please enter the password for the user name : <ISM のパスワード>
Please enter the user name of SCOM : <SCOM の管理者名>
Please enter the Alert collection interval (3-525600 or 00:00-23:59):<アラート取得間隔>
Please enter the Alert deletion interval (3-525600 or 00:00-23:59):<アラート削除間隔>
[INFO] Configuration file was updated successfully.
Do you want to continue? [y/n] : y (n で終了)
Please enter the IP address or FQDN of ISM Server : <ISM のIP アドレス、またはFQDN>
Please enter the port number of ISM Server : <ISM のポート番号>
Please enter the user name of ISM Server : <ISM のユーザー名>
Please enter the password for the user name : <ISM のパスワード>
Please enter the user name of SCOM : <SCOM のアクションアカウント名>
Please enter the Alert collection interval (3-525600 or 00:00-23:59):<アラート取得間隔>
Please enter the Alert deletion interval (3-525600 or 00:00-23:59):<アラート削除間隔>
[INFO] Configuration file was updated successfully.
Do you want to continue? [y/n] : n (n で終了)
```

<アラート取得間隔>および<アラート削除間隔>は、3分から525600分または00時00分から23時59分の時刻指定で設定してください。

4. "exit" コマンドで終了します。

## ポイント

登録した情報を変更して再設定する場合は、上記の手順1~4を実行して、再度登録してください。

## 2.4.6 ISM Plug-in for SCOMの情報を削除する

設定した情報の削除、または再設定したい場合、下記操作を実施し、設定を一度すべて削除し、CLIで再設定してください。

1. <インストール先フォルダ名>¥config配下のism\_server.xmlファイルを編集可能なアプリケーションで開きます。
2. <ISMServer ISM\_ACCOUNT>の行を削除し、保存してください。

再設定する場合、情報の再登録してください。

## 2.4.7 ISM Plug-in for SCOMを利用する

### 注意

多要素認証を有効にした場合、ISMから検出するアラート情報は表示されません。また、ISMのログイン画面を表示しようすると以下のエラー画面が表示されます。

```
AcISM [ERROR] ISM Alert Task is failed.
{"MessageInfo": [{"TimeStamp": "2022-08-11T05:26:51.470Z", "MessageId": "50060008", "API": "POST https://xx.xx.xxx.xxx:25566/ism/api/v1/session/login", "Message": "ログインに失敗しました。認証コードが未入力です。"}, {"IsmBody": {}, "SchemaType": "https://xx.xx.xxx.xxx:25566/ism/schema/v1/MessageInfo-Out.0.0.1.json"}]}
```

1. SCOMを起動します。
2. トップの「監視」画面より、左ペインの[アクティブなアラート]を選択し、中央ペインの対象アラートを選択します。右ペインに[アラートタスク]が表示されます。

## ポイント

ISMから検出するアラートは、ソースに[InfrastructureManager]と表示されます。

あらかじめ、ISMにて監視の有効化としきい値を設定した項目が検出の対象です。なお、名前欄に表示される時刻はUTC表記であり、作成日時で表示される時刻と異なります。

設定方法については、『解説書』の「2.3.1 監視項目/しきい値」を参照してください。

3. [アラートタスク]直下の[Fsastech ISM (node)]を選択します。

ISMのログイン画面が表示されます。

## ポイント

ISMに登録されていない機器のアラートを選択している場合、エラー画面が表示されます。

4. ログイン後、対象ノードの詳細画面が表示されます。

## 2.5 アンインストール

ISM Plug-in for SCOMのアンインストールは、以下の手順で行います。

1. SCOMを起動します。
2. [管理]タブを選択します。
3. [管理パック]を選択します。
4. [Infrastructure Manager] を右クリックします。
5. コンテキストメニューから[削除]を選択して、管理パックを削除します。
6. ISM Plug-in for SCOMをインストールしたWindows Serverのコントロールパネルを開きます。
7. [プログラムと機能]を選択します。  
「プログラムのアンインストールまたは変更」画面が表示されます。
8. インストールされたプログラムの一覧から[Infrastructure Manager Plug-in for Microsoft System Center Operations Manager]を選択して右クリックします。
9. コンテキストメニューから[アンインストール]を選択します。  
ISM Plug-in for SCOMが削除されます。  
※アンインストールでエラーが発生した場合、インストーラーファイル(ISMSCOM\_INSTALL.exe)をダブルクリックして起動し、[削除]を選択し、アンインストールしてください。

## 2.6 留意事項

- ISM Plug-in for SCOMを使用するためには、ISMのご購入およびインストールが必須となります。  
ISMの詳細については、ISMの製品マニュアルを参照してください。ISMがインストールされていない場合、動作しませんのであらかじめご了承ください。
- ISM Plug-in for SCOMを使用するためには、SCOMをあらかじめインストールのうえ、接続可能なことが必須となります。  
SCOMの操作方法については、Microsoftの製品マニュアルを参照してください。
- <対象ホスト>のIPアドレスをISMの[ノードリスト]-[<対象ホスト>]-[OS]タブの[登録IPアドレス]に登録してください。

## 第3章 ISM Plug-in for SCVMM 1.3

### 3.1 機能概要

Infrastructure Manager Plug-in for Microsoft System Center Virtual Machine Manager (ISM Plug-in for SCVMM) は、SCVMMのユーザーインターフェイスを拡張し、SCVMM上でISMの各種機能を提供するためのプラグインソフトウェアです。

本製品を導入することにより、SCVMMからISMを直接利用できます。

### 3.2 パッケージ内容

本製品を展開すると、下記3つのファイルに解凍されます。

- ISMSCVMM\_INSTALL.exe
- Readme.txt
- Readme\_en.txt

### 3.3 システム要件

ISM Plug-in for SCVMMが動作するSCVMMのシステム要件については、当社の本製品Webサイトを参照してください。

<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/infrastructure-software/infrastructure-software/serverviewism/environment/>

本Plug-inを利用する場合、多要素認証を無効にしてください。

### 3.4 インストール

SCVMMにISM Plug-in for SCVMMをインストールします。以下に、SCVMMへのインストール手順を説明します。

#### 3.4.1 インストールの準備

SCVMMにISM Plug-in for SCVMMをインストールします。以下に、SCVMMへのインストール手順を説明します。

##### ポイント

- 以降の手順を実施する前にISM Plug-in for SCVMMをインストールするWindows ServerへOpenSSLをインストールしてください。また、環境変数の「Path」にopenssl.exeファイルが存在するパスを追加してください。インストールするOpenSSLのバージョンは、ISMのOpenSSLのバージョンと合わせてください(参考:ISM 3.2.0時点でopenssl3.2.2)。
- 新規にインストールする場合は、ISM Plug-in for SCVMMをインストールするWindows ServerおよびSystem CenterがTLSv1.2を利用できるようにしてください。
- 適用したいバージョンよりも古いバージョンのISM Plug-in for SCVMMがすでにインストールされている場合は、古いバージョンのISM Plug-in for SCVMMをアンインストールしてください。

#### 3.4.2 インストールファイルを格納する

ISM Plug-in for SCVMMをインストールするWindows ServerにRemote Desktopで接続します。

インストールファイルをコピー＆ペーストで接続先のWindows Serverの任意のディレクトリへ転送します。

### 3.4.3 インストールファイルを実行する

---

1. インストール先の Windows Serverにて「[3.4.2 インストールファイルを格納する](#)」で転送したインストールファイル (ISMVMM\_INSTALL.exe)を右クリックして「管理者として実行」を選択しインストールします。  
インストール言語選択ダイアログボックスが表示されます。
2. 日本語または英語を選択し、[OK]を選択します。  
インストーラーの準備が完了すると、「次へ」を選択して、続行してください。」と表示されます。
3. [次へ]を選択します。  
使用許諾契約書が表示されます。
4. 内容を確認し、[同意します]にチェックを入れ、[次へ]を選択します。  
「インストール先のフォルダー」画面が表示されます。
5. インストール先フォルダーを変更しない場合は、[次へ]を選択します。  
インストール先フォルダーを変更したい場合は、[変更]を選択します。  
[変更]を選択すると「インストール先フォルダーの変更」画面が表示されます。インストールしたいフォルダーを選択し、[OK]を選択します。  
選択したフォルダーのパスが「インストール先のフォルダー」画面に表示されます。
6. パスが正しいことを確認し、[次へ]を選択します。  
「プログラムをインストールする準備ができました」画面が表示されます。
7. [インストール]を選択します。  
インストールが完了するとインストール完了画面が表示されます。
8. [完了]を選択し、終了します。

### 3.4.4 コンソールアドインをインポートする

---

1. SCVMMにログインします。
2. 左ペインの[設定]を選択し、画面上のタブ[コンソールアドインのインポート]を選択します。  
「コンソールアドインのインポート ウィザード」ダイアログボックスが開きます。
3. アドインのパスを入力するため[参照]を選択します。
4. インストール先フォルダーから、[Management Packs] - [ISMVMMPlugin.zip]を選択し、[開く]を選択します。  
「アドインの選択」画面に戻ります。
5. [このアドインのインストールを続行する]にチェックを付け、[次へ]を選択します。

#### ポイント

.....  
「管理コンソールを明示的なWindowsの資格情報で開始したため、このアドインのインポートを完了するには管理コンソールを再起動する必要があります」というメッセージが表示された場合は、[OK]を選択して閉じます。  
.....

「設定の確認」画面が表示されます。

6. [閉じる]を選択して終了します。
7. SCVMMを再起動します。

### 3.4.5 ISM Plug-in for SCVMMに情報を登録する

---

コマンドプロンプトを用いて、ISM Plug-in for SCVMMにISMおよびSCVMMの各種情報を登録します。

1. ISM Plug-in for SCVMMをインストールしたWindows Server で[コマンド プロンプト(管理者)]を起動します。

2. 以下のコマンドを入力し、実行します。

<インストール先フォルダー名>%IsmServerConfig.exe

3. 以下の情報を入力します。

```
Please enter the IP address or FQDN of ISM Server : <ISM のIP アドレス、またはFQDN>
Please enter the port number of ISM Server : <ISM のポート番号>
Please enter the user name of ISM Server : <ISM のユーザー名>
Please enter the password for the user name : <ISM のパスワード>
Please enter the user name of SCVMM : <SCVMM のユーザー名>
[INFO] Configuration file was updated successfully.
Do you want to continue? [y/n] : n (n で終了)
```

4. "exit"コマンドで終了します。

## ポイント

登録した情報を変更して再設定する場合は、上記の手順1～4を実行して、再度登録してください。

### 3.4.6 ISM Plug-in for SCVMMの情報を削除する

設定した情報の削除、または再設定したい場合、下記操作を実施し、設定を一度すべて削除し、CLIで再設定してください。

1. <インストール先フォルダー名>%config配下のism\_server.xmlファイルを編集可能なアプリケーションで開きます。
2. <ISMServer ISM\_ACCOUNT>の行を削除し、保存してください。

再設定する場合、情報の再登録してください。

### 3.4.7 ISM Plug-in for SCVMMを利用する

## 注意

多要素認証を有効にした場合、[Fsastech ISM]を選択すると以下のエラー画面が表示されます。

```
[ERROR] ISM Login was Failed.
```

1. SCVMMを起動します。
2. 左ペインの[すべてのホスト]を選択したうえで、右ペインのホスト名にカーソルを置き、右クリックします。コンテキストメニューの中から[Fsastech ISM]を選択します。  
画面右上に現れる[Fsastech ISM]のタブを選択することでも表示できます。  
「Fsastech SCVMM Plugin」のダイアログボックスが開きます。
3. [Profile Assignment]を選択すると、ISM ログイン画面表示後、ノードリスト画面に遷移します。
4. [Node Information]を選択すると、ISM ログイン画面表示後、対象ホストのノード詳細画面に遷移します。
5. [Firmware Management]を選択すると、ISM ログイン画面表示後、対象ホストのファームウェア/ドライバー画面に遷移します。

## 3.5 アンインストール

ISM Plug-in for SCVMMのアンインストールは、以下の手順で行います。

1. SCVMMにログインします。
2. [設定]タブを選択します。
3. [コンソールアドイン]を選択します。

4. [Infrastructure Manager Plug-in]を右クリックします。
5. コンテキストメニューから[削除]を選択し、アドインを削除します。
6. ISM Plug-in for SCVMMをインストールしたWindows Serverのコントロールパネルを開きます。
7. [プログラムと機能]を選択します。  
「プログラムのアンインストールまたは変更」画面が表示されます。
8. インストールされたプログラムの一覧から[Infrastructure Manager Plug-in for Microsoft System Center Virtual Machine Manager]を右クリックします。
9. コンテキストメニューから[アンインストール]を選択します。  
ISM Plug-in for SCVMMが削除されます。  
※アンインストールでエラーが発生した場合、インストーラーファイル (ISMSCOM\_INSTALL.exe) をダブルクリックして起動し、[削除]を選択し、アンインストールしてください。

## 3.6 留意事項

---

- ISM Plug-in for SCVMMを使用するためには、ISMのご購入およびインストールが必須となります。  
ISMの詳細については、ISMの製品マニュアルを参照してください。ISMがインストールされていない場合、動作しませんのであらかじめご了承ください。
- ISM Plug-in for SCVMMを使用するためには、SCVMMをあらかじめインストールのうえ、接続可能なことが必須となります。  
SCVMMの操作方法については、Microsoftの製品マニュアルを参照してください。
- <対象ホスト>のIPアドレスをISMの[ノードリスト]-[<対象ホスト>]-[OS]タブの[登録IPアドレス]に登録してください。

## 第4章 ISM Plug-in for WAC 2.1

### 4.1 機能概要

Infrastructure Manager Plug-in for Microsoft Windows Admin Center (ISM Plug-in for WAC)は、WACのユーザーインターフェイスを拡張し、WAC上でISMの各種機能を提供するためのプラグインソフトウェアです。

本製品を導入することにより、WACからISMの機能を利用できます。

### 4.2 パッケージ内容

本製品を展開すると、下記3つのファイルに解凍されます。

- fsastech.sme.infrastructure-manager.x.y.z.nupkg [注]
- Readme.txt
- Readme\_en.txt

[注]:x.y.zは最新バージョンを表します。

最新バージョンまたは適用したいバージョンについては、『管理対象機器一覧』を参照してください。

<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/infrastructure-software/infrastructure-software/serveviewism/environment/>

### 4.3 システム要件

ISM Plug-in for WACが動作するWACのシステム要件については、当社の本製品Webサイトを参照してください。

<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/infrastructure-software/infrastructure-software/serveviewism/environment/>

本Plug-inを利用する場合、多要素認証を無効にしてください。

### 4.4 インストール

WACにISM Plug-in for WACをインストールします。以下に、WACへのインストール手順を説明します。

#### ポイント

ISM Plug-in for WAC 2.1.0以降では、ISM Plug-in for WAC 2.1.0よりも古いバージョンのISM Plug-in for WACがすでにインストールされている場合は、古いバージョンのISM Plug-in for WACをアンインストールしてください。

#### 4.4.1 インストールファイルを格納する

ISM Plug-in for WACをインストールするWindows ServerにRemote Desktopで接続します。

インストールファイルをコピー&ペーストで接続先のWindows Serverの任意のディレクトリへ転送します。

#### 4.4.2 インストール

WAC 2311以前からWAC 2410以降にアップデートする場合は、WACのフレームワークが変更されているため、最初に旧版のアンインストールから始まる以下の手順1.から実施してください。新規のWAC 2410以降へインストールする場合は、以下の手順3.から実施してください。

1. アップデートする前に、「4.5 アンインストール」を参照して、ISM WAC Plug-in 2.1.0未満をアンインストールします。
2. WAC 2410以降にアップデート後、次の3.以降の手順を実施してISM WAC Plug-in 2.1をインストールし、「4.4.3 ISM Plug-in for WACに情報を登録する」を参照して再設定後、「4.4.4 WebブラウザにISMのSSLサーバー証明書をインストールする」を実施してください。

3. 次のURLを使用して、Windows Admin CenterをWebブラウザで開きます。  
https://<WAC\_Server\_FQDN\_or\_IP\_address>:<WAC\_Server\_Port>
4. 「WAC」画面右上の歯車アイコンを選択し、設定画面を表示します。
5. 左ペインから[ゲートウェイ>拡張]を選択します。
6. 右ペインで[フィード]を選択します。
7. 右ペインで[+追加]を選択します。
8. [拡張フィードのURLまたはパス]に「4.4.1 インストールファイルを格納する」の手順でインストールファイルを格納したディレクトリーのパスを入力し、[追加]を選択します。
9. 「フィード」画面の[パッケージフィード]に指定したディレクトリーが表示されていることを確認します。
10. [利用可能な拡張機能]を選択します。
11. [Infrastructure Manager]を選択します。
12. [インストール]を選択します。
13. [インストール済の拡張機能]を選択し、Infrastructure Manager]がインストール済となっていることを確認します。

### 4.4.3 ISM Plug-in for WACに情報を登録する

ISM Plug-in for WACにISMの各種情報を登録します。

1. 次のURLを使用して、Windows Admin CenterをWebブラウザで開きます。  
https://<WAC\_Server\_FQDN\_or\_IP\_address>:<WAC\_Server\_Port>
2. 「WAC」画面上部の[>]を選択し、インストールされているソリューションより[Infrastructure Manager Suite]を選択します。
3. [+追加]ボタンを選択します。  
「接続タグ」画面が開きます。
4. 下記設定項目を入力します。

設定項目	設定内容
IPアドレス(必須)	管理対象ISMのIPアドレスを入力(例: 192.168.100.10)
ポート番号(必須)	管理対象ISMのポート番号を入力(例: 25566)
ユーザー名(必須)	管理対象ISMのユーザー名を入力(例: administrator)
パスワード(必須)	管理対象ISMのパスワードを入力

5. [追加]ボタンを選択します。



#### 注意

すでに登録されているISMの設定項目を変更する場合は、削除し再登録する必要があります。

例としてISMのパスワードを変更する際の手順を記載します。

1. 次のURLを使用して、Windows Admin CenterをWebブラウザで開きます。  
https://<WAC\_Server\_FQDN\_or\_IP\_address>:<WAC\_Server\_Port>
2. 「WAC」画面上部の[>]を選択し、インストールされているソリューションより[Infrastructure Manager Suite]を選択します。
3. 変更対象の行を選択します。
4. [削除]ボタンを選択します。
5. 「接続の削除」ウインドウより[はい]を選択します。

6. ISMのパスワードを変更します。

パスワード変更方法の詳細は、『操作手順書』の「2.3.1.2 ユーザーを編集する」を参照してください。

7. ISMで変更した情報をISM Plug-in for WACに再登録します。

登録手順については、「4.4.3 ISM Plug-in for WACに情報を登録する」の手順3以降を参照してください。

---

## 4.4.4 WebブラウザーにISMのSSLサーバー証明書をインストールする

---

WACにログインする端末のWebブラウザーにISMのSSLサーバー証明書のインストールが必要です。

SSLサーバー証明書を設定する手順については、本手順書の「付録A WebブラウザーにSSLサーバー証明書を設定する」を参照してください。

SSLサーバー証明書が設定されていない場合、ISM Plug-in利用時にエラー画面が表示されます。

SSLサーバー証明書を再設定した場合、証明書を再インストールしてください。

---

## 4.4.5 ISM Plug-in for WACを利用する

---



注意

Plug-inを新規インストールして、多要素認証を有効にした場合、以下のエラー画面が表示されます。

Error connecting to Server. Failed to log in. The authentication code has not been entered.

運用中に、多要素認証を有効にした場合、「概要」画面ではデータは表示されません。「ノード」画面、「イベント」画面、「ファームウェア」画面では以下のエラー画面が表示されます。

レコードが見つかりません

1. 次のURLを使用して、Windows Admin CenterをWebブラウザーで開きます。

`https://<WAC_Server_FQDN_or_IP_address>:<WAC_Server_Port>`

2. 「WAC」画面上部の[>]を選択し、インストールされているソリューションより[Infrastructure Manager Suite]を選択します。

3. ISMのIPアドレスを選択します。

4. 「WAC」画面左のメニューから各画面へ遷移できます。

- 概要
- ノード
- イベント
- ファームウェア
- 設定

「概要」画面

ISMのバージョン情報やISMで管理しているノードのステータス情報などをWACに表示できます。

「ノード」画面

ISMで管理しているノードの詳細情報(ハードウェア情報やノード間の親子関係など)をWACに表示できます。



注意

[ノード]タブの一覧から対象ノードを選択後、下部対象ノード詳細エリアを折りたたみ、再度展開することで、[一般]以外のタブが表示されます。詳細エリアの折りたたみ、展開は、下部ノード名詳細を選択することで、折りたたみと展開が可能となります。他のノードを選択

する場合、現在のノード詳細エリアを一度折りたんでから、他のノードを選択後、詳細エリアを展開してください。詳細エリアの各タブは、表示するまでに時間がかかることがあります。タブの領域が読み込み状態から復帰しない場合は、ブラウザを再起動してください。

また、ノードグループ選択後、下部'ノード名'詳細を選択して一度折りたたみ、再度展開することで、ノードグループの正しいタブが表示されます。

---

#### 「イベント」画面

ISMが保持するイベント情報をWACに表示できます。また、大量にイベントがある場合、ISMへ遷移することでローカルにエクスポートして傾向の分析や原因調査に利用できます。



WAC上で表示されるイベント情報はISMの言語設定に依存します。

そのため、WACとISMで言語設定を合わせてください。

---

#### 「ファームウェア」画面

ISMで管理しているノードのファームウェア情報をWACへ表示できます。

また、ISMへ遷移することでファームウェアのアップデートができます。



各画面でISMのデータが取得できていない場合、ISMの接続情報の設定が誤っている可能性があります。

「[4.4.3 ISM Plug-in for WACに情報を登録する](#)」を参考にISMの接続情報を削除後、再登録を実施してください。

また、「設定」画面では、15秒から300秒の間の15秒刻みで更新間隔を設定できます。

---

## 4.5 アンインストール

---

ISM Plug-in for WACのアンインストールは、以下の手順で行います。

1. 次のURLを使用して、Windows Admin CenterをWebブラウザで開きます。  
`https://<WAC_Server_FQDN_or_IP_address>:<WAC_Server_Port>`
2. 「WAC」画面右上の歯車アイコンを選択し、設定画面を表示します。
3. 左ペインから[ゲートウェイ>拡張]を選択します。
4. 右ペインで[インストール済の拡張機能]を選択します。
5. [Infrastructure Manager]を選択し、[アンインストール]ボタンを選択します。
6. [インストール済の拡張機能]の一覧より[Infrastructure Manager]が表示されないことを確認します。

## 4.6 留意事項

---

- ISM Plug-in for WACを使用するためには、ISMのご購入およびインストールが必須となります。  
ISMの詳細については、ISMの製品マニュアルを参照してください。ISMがインストールされていない場合、動作しませんのであらかじめご了承ください。
- ISM Plug-in for WACを使用するためには、WACをあらかじめインストールのうえ、接続可能なことが必須となります。  
WACの操作方法については、Microsoftの製品マニュアルを参照してください。

## 第5章 最新情報

ISM Plug-inに関する最新情報については、次のWebページを参照してください。

<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/infrastructure-software/infrastructure-software/serverviewism/>

## 付録A WebブラウザにSSLサーバー証明書を設定する

vSphere Client(HTML5)、またはWACに接続する端末にSSLサーバー証明書が設定されていない場合、ISM Plug-in 利用時にエラー画面が表示されます。このため、あらかじめvCenterに接続する端末にSSLサーバー証明書を設定する必要があります。

以下にMicrosoft Edgeでの設定例を示します。

1. SSLサーバー証明書ファイルを準備します。

### ポイント

- SSLサーバー証明書については、『解説書』の「4.7.1 SSL証明書配置」を参照のうえ、vSphere Client(HTML5)またはWACに接続する端末に、あらかじめ証明書を準備しておきます。
- SSLサーバー自己署名証明書を作成した場合は、『解説書』の「4.7.5 CA証明書のダウンロード」でダウンロードしたCA証明書を登録する必要があります。
- Microsoft Edge以外のブラウザをご利用の場合は、『解説書』の「2.1.1 GUI」を参照してください。

2. Microsoft Edgeを起動し、右上の[⋮]ボタンを選択して、[設定]を選択します。
3. [プライバシー、検索、サービス]を選択します。
4. [証明書の管理]を選択します。  
「証明書」ダイアログボックスが表示されます。
5. [個人]タブを選択します。
6. [インポート]を選択して、ここからインポートをします。
7. インポートを完了したら、ブラウザを再起動します。
8. ISM にアクセスし、「証明書のエラー」が表示されないことを確認します。